



地域おこし協力隊通信

八巻 枝美 編

第52回

8月は「のしろ銀河フェスティバル」で「星のおねえさんと親子で宇宙あそび」コーナーを担当し、望遠鏡づくりやパーパークラフト、自分でデザインしたお皿を作るワークショップを開催しました。

夢中になって制作に取り組み姿や皆さんの笑顔を見ることができて、とてもうれしかったです。来場ありがとうございました。

銀フェス2日目は「能代宇宙イベント」でハイブリッドロケット打ち上げの中継レポーターを担当。能代に日本屈指の技術を持った学生たちが50の人近く集まり、実験や技術交流などを行っています。宇宙を目指す学生にとって「能代」はまさに聖地。この地でロケットを打ち上げることを目標に熱く頑張っている学生が全国にたくさんいることはうれしい限りです。これからも「宇宙のまち能代」を誇りに思い、大切にしていきたいと思っています。

9月は図書館とのコラボイベント「銀河鉄道の夜をたどる星空鑑賞会」を開催します。宮沢賢治の名作「銀河鉄道の夜」は、ジョバンニと友人のカムパネルラが銀河鉄道で天の川の旅をする物語。この舞台となった場所を、実際の夜空で眺めてみませんか？



参加者それぞれがデザインした望遠鏡



協力隊の活動状況はFacebookで公開中！ <https://www.facebook.com/noshirokyoryokutai/>
問合せ 市民活力推進課 ☎89-2212

このコーナーでは、まちの元気さんを紹介します。



No.91

新しいアイデアや独自性で能代に波を起こしたい

株式会社インダス

代表取締役 工藤 圭太さん (41歳)

●どのような会社ですか？

総合広告代理店として、紙をメインに、映像などさまざまなメディアを使いながら企業や自治体のプロモーションをお手伝いしています。その一環として、コンビニや道の駅などにおいているフリーマガジン「isube!」の発行も手がけています。

●今の仕事をやるきっかけは？

新しいことを企画したり、相手に提案したりすることが好きだったことや、幼いころ

から父が営んでいた印刷会社の仕事をしていたこともあり、自然とそうした仕事に興味を持ちました。

高校卒業後は広告関係の専門学校へ進学。卒業後は東京の広告代理店での仕事を経験しました。東京でも少し経験を積もうと考えていましたが、家の事情もあり、24歳で帰郷し父の会社へ就職。31歳のときにインダスを設立し、今年で10年を迎えました。

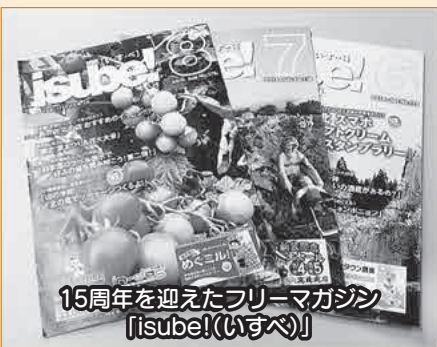
●能代で働くことへの思いは？

既存のイベントやこれから企画するものに、新しい切り口や発想を加えることができれば、より効率的、効果的に情報発信や集客ができると思っています。そこで、培った発想や技術を使い、お客様にとってより良いもの、最適なものを提供していきたい。そういった方向から「能代のちから」になりたいという気持ちが強くなります。

●会社の特徴や今後の抱負を

AR技術を用いた広告媒体を提案できることが強みです。印刷物を見ながら動画の再生や、ウェブサイトへアクセスができ、五感に訴えかけるPRができます。

商品やサービスに値段以上の価値を感じていただけるよう、新しい発想や独自性を磨き上げ、能代に波及させたいです。



15周年を迎えたフリーマガジン [isube! (いすべ)]

